

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会高槻病院で出生され、超早産・気胸のためにNICU・GCU病棟に入院された患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院新生児科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

超早産児における気胸の管理方法の解析

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院 新生児科 医長 岸上 真

3. 研究の目的

気胸は生後早期の新生児に発症しうる合併症であることは広く知られており、とりわけ超早産児にとって、生後早期の安定は、長期予後に関わる大切な問題です。また、近年救命率が上昇している在胎22から23週出生の児に関しては生命予後に関わることも多くより良い管理が求められています。しかし、超早産児における気胸発症前後の臨床的状態や治療介入後の詳細な経過に関して検討された論文報告は少ないです。本研究は、超早産児における気胸発症前後の臨床的特徴を明らかにすることで、超早産児の急性期のより良い呼吸循環管理、ひいては長期予後の改善に役立てることを目的としています。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2011年1月1日から2018年12月31日までの期間中に、高槻病院NICUにて出生された、在胎28週未満の気胸発症児

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、出生体重、在胎週数、治療方法や治療期間などの入院中の経過に関する情報です。

(3) 方法

(2)で得られるデータを統計的な手法で評価します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曽部町 1-3-13

社会医療法人愛仁会高槻病院新生児科 担当医師 片山 義規

TEL : 072-681-3801 FAX : 072-682-3834

E-mail : katayama@ajk.takatsuki-hp.or.jp